

中郡卓球協会 西湘オープン「家族3代」で参加

【楽しさ重視】 中郡卓球協会は大磯町と二宮町の卓球愛好者をまとめる協会として1982（昭和57）年5月に発足しました。当時、中心となったのは故坂口博泰氏で、協会設立への手立てや規約の作成など様々な面でお世話になりました。大磯町卓球協会と二宮町卓球協会もでき、二つの協会を県卓球協会に結びつける役割を果たしています。現在、登録しているのは延べ31団体です。

中郡卓球協会のモットーは「卓球を愛する人をつなぐ小さな協会」で、参加した大会でできるだけたくさんの試合ができるように、また、多くの人が賞品をもらえ、今日は楽しかったと思える大会運営を心がけています。

その他、多くの人々が大会に参加しやすいように運営方法や参加費について検討を重ね、卓球振興のため中学校や高校は加盟料を無料とし、さらに中体連や高体連、レディースへ補助金を出し、卓球台の寄贈などを行ってきました。関東大会や全国大会に出場する団体や個人に補助金を出し、審判などの資格取得については取得費用の援助を行って卓球活動の活性化を図っています。

【年間11大会】 発足した1982年度に開催した大会は中郡卓球選手権大会団体戦の部、西湘オープン卓球大会個人の部（8部門）などごくわずか。現在は年間11大会を開催しています。

大会の中核は西湘オープン卓球大会で「家族3代で参加できる」がモットー。小学生から年配の方まで参加できるように20部門に分けた個人戦を毎年3月に、団体戦を7月と8月に実施。コロナ禍で中断はしましたが、2024年3月には第43回大会を開催することができました。当初は文字通り「家族3代」が同じ会場で試合をし、1000人を超える卓球愛好者が来場して運営は大変でした。現在は参加人数が増えたため開催日を2日に分けていますが、広い「ひらつかサン・ライフアリーナ」を利用させて頂き比較的スムーズに運営が

中郡卓球協会の役員。（前列左から）浅井美里、小田真理（審判部）、角田高子の各常任理事、小野寺正紀会長、佐復佐知子理事、脇幸子常任理事、（後列左から）柳川準一理事、伊藤努理事長、牧田悟副会長（大磯町卓球協会会長）、仲條幸敏副理事長、西川雅章副会長（二宮町卓球協会会長）、伊藤誠常任理事、飯島正浩理事



◆歴代会長（数字は年度）

- 1982～84年 山村広保
- 85～87年 大貫 忠
- 88～2012年 坂口博泰
- 2013年～ 小野寺正紀

◆歴代理事長（数字は年度）

- 1982～87年 坂口博泰
- 88年～ 伊藤 努

行えるようになりました。

多くの方に続けて参加してもらえるように、前年度優勝者は参加料を無料とし、「トロフィよりも賞品の方がよい」といった参加者の声を生かす大会運営を進めています。

団体戦は1984年に中学生の大会から始まり、その後、高校生の部、小学生の部を設けて多くのチームが参加しています。大会の特徴として、できるだけ多くの試合ができるよう下位トーナメントも実施して好評を得ています。

【中郡卓球選手権】 次に大きな大会は団体戦から始まった中郡卓球選手権大会。6月にシングルの部、1月にダブルスの部、2月に団体戦の部を催して多くの方が参加しています。大会運営については大磯町卓球協会、二宮町卓球協会の方にそれぞれお願いし、運



2023年度の西湘オープン卓球大会

営の学びの場ともなっています。

参加資格についても多くの方に参加してもらえるように中郡卓球協会加盟者以外にも門戸を開き、所定の手続きにより参加できるように変えてきました。その結果、中郡以外の方の参加も増えてレベルの高い大会となっています。

「中郡在住の卓球愛好者の親睦を深める」大会としてサマーフェスティバル卓球大会と中郡ミックスダブルス大会を開催しています。

サマーフェスティバル卓球大会は男女混合の団体戦で、申し込まれた方々を抽選によりチーム分けして団体戦を実施。小中学生はカデットの部として男女別個人戦を行います。中郡ミックスダブルス大会は自己申告によるA・Bランク別のミックスダブルス大会です。

2007年から年間6回開催しているワンコインリーグ卓球大会は「卓球を通じて地域の高齢愛好者の親睦と健康維持を図る」ことを目的に男子60歳以上、女子50歳以上を対象に開催し、2023年度で102回目を迎えました。

【会員の活躍】 1985年、坂口真弓選手が全日本選手権大会カデットの部に出場しました。98年、三枝靖武選手が中学校総合体育大会個人戦で優勝して全国大会へ。高校でも県大会個人戦で優勝し、2001年のインターハイ団体戦でも3位に入りました。弟の三枝正典選手も2000年の中学校総合体育大会個人戦で優勝し、高校でも個人戦を制してインターハイで大活躍。15年には小出美月選手が全日本選手権大会カデットの部に出場しました。



1998年に箕島万実選手、2006年に綾部克己選手、13年に杉山絢音選手が県大会を勝ち抜き関東大会の個人戦に出場しました。

団体では2004年に大磯中学校男子卓球部が神奈川県中学校総合体育大会で優勝して関東大会へ。関東大会も勝ち抜いて全国大会出場を決めました。女子でも大磯中学校が05年、国府中学校が18年に県大会を勝ち抜き関東大会に出場しています。

一般では2018年、池田美穂選手、22年には廣瀬泰己選手が県予選を通過し全日本卓球選手権大会マスターズの部に出場しました。

【コロナ機に運営変更】 新型コロナウイルスの影響で2020年3月から22年3月の西湘オープン大会まで大会開催はできませんでした。一番困ったのが大会参加費の返金で、返金の連絡や口座確認などで苦労しました。その反面、これを契機に申し込みをネットのみに限定し、連絡先の確認が容易にできるようにするなど大会運営の変更に踏み切ることができました。

これからも皆様のご参加をお待ちしています。